

令和5年度 仙台市宮城野障害者福祉センター 在宅障害者・一般市民向け事業 「特殊詐欺対策について」を開催しました

令和5年7月6日
仙台市宮城野障害者福祉センター

令和5年7月4日（火）に、「特殊詐欺対策について」を開催しました。

今回は、仙台市市民局生活安全安心部市民生活課の中村正志氏を講師にお招きし、講義をしていただいた。講義には障害当事者の5名を含めて13名の方に参加をしていただいた。中村氏は、現職時代に警察官として警察署や派出所での勤務経験があることから、現場で経験をしてきたことを基に作成した資料を配布しながら、現実には被害に遭われた事例などの話を通して注意を促していた。

特殊詐欺の手口は多様だが、そのうち「オレオレ詐欺」「架空料金詐欺」「還付金詐欺」「預貯金詐欺」の4つはしっかりと覚えておいた方が良く、とのお話しであった。報道などで頻繁に耳にする言葉であったが、講義で改めて聞くことで強く印象に残るため、詐欺の現場に逢ったとしても対処できるのではないか、と感じた。

犯罪に巻き込まれないようにするためには、情報が大切であるとし、「みやぎ Security メール」という、犯罪の発生情報や犯罪に遭わないための情報を受け取るサービスの紹介があった。登録は必要だが、事前に知ることによって対処する心構えはでき、身の回りで起こった場合には落ち着いて対処できるものとする。

特殊詐欺の被害は後を絶たず、被害者や被害額は年々大きくなっている、と説明があった。被害に遭わないように準備は必要であり、心構え一つで避けることが出来る為、引き続き防犯に関する講義を開催していきたい。

